

製造部会

去る11月12日(水)に、辻部会長はじめ7名の部会員が参加のもと、部会事業を行いました。

今回の事業は、企業活動に欠かせない安定した電力を供給している、関西電力(株)舞鶴発電所の見学を行いました。

最初に、事務所内で発電所の概要説明を受けました。建設にあたっては周囲の環境に配慮した施設とするため、建設時に斜面を切り崩した土砂を他の土地に持ち出さないよう自然の地形に沿って50メートルの高低をつけて二段造成になっている。また、煙突は200メートルの高さから燃焼ガスを大気中に拡散させているなど環境保全に取り組んでいる。

現在、発電所1号機・2号機はフル稼働中であり、2機合計で180万キロワットを供給できる。これは400万世帯をカバーできる電力量であり、大阪府全体の世帯に供給している。ちなみに高浜原子力発電所の3号機及び4号機合計で174万キロワットである。

なお、2号機は今秋から冬にかけて定期点検の予定

であったが、来春に延期することが決定している。

1kwh(1キロワットの電力を1時間消費したときの電力量)発電するためのコストは、石炭火力 約9.7円、原子力発電 約8.9円、石油火力 約36円である。コストに視点を向けると石炭火力は有力な発電である。

その後、引き続き石炭サイロ・タービン建屋の中央制御室・揚炭栈橋を見学。現在の電力事情を踏まえ、今後も舞鶴発電所の重要性について部会員の認識が一層高くなった有意義な事業となりました。



発電所説明の様子

ビジネスマナーの基本を振り返る 新入社員・若手社員のための

ビジネスマナーフォローアップ研修開催

入社半年～1年という節目においてビジネスマナーの基本を振り返り、再確認するとともに、好印象を与えるビジネスコミュニケーションをみにつけることを目的・目標に研修を開催しました。

11月18日、舞鶴商工会議所ホールにおいてビジネスマナーフォローアップ研修を開催しました。舞鶴商工会議所、(公財)日本電信電話ユーザ協会北京都協会の共催によるもので、講師はmm.ユアーズ代表吉見さつき氏。会員事業所の社員14名が受講しました。

午前中は、ビジネスマナーの基本を振り返り、再確認することを中心とした講義。特に第一

印象の重要性と良好な人間関係を築く基礎の確認をし、挨拶や笑顔の意味を理解することでより質の高いマナーを学びました。

午後からは、好印象を与えるコミュニケーションをみにつけるために実習を交えた研修をしました。電話対応やハウレンソウ(報告・連絡・相談)の場面でいかに相手の気持ちや状況をくみ取り、安心させることができるか。言葉、表現、声、表情、タイミング等々のポイントを学び、それぞれのレベルアップを目指しました。

今後もビジネスマナーフォローアップ研修を計画しています。是非ご利用ください。



場面に適した挨拶の練習



講師 吉見さつき氏



電話対応の心構えは正確・迅速・丁寧を心掛けて